



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6927 URL http://www.heliostec-hd.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)齊藤 定一  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役統括管理部長 (氏名)川坂 陽一 (TEL) 079(263)9500  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,110	19.6	1,350	32.4	1,346	31.9	974	39.5
28年3月期第3四半期	10,966	13.0	1,019	348.8	1,020	510.3	698	165.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,045百万円(39.5%) 28年3月期第3四半期 749百万円(161.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	54.25	54.04
28年3月期第3四半期	39.16	38.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,640	9,423	69.0
28年3月期	14,663	8,645	58.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 9,418百万円 28年3月期 8,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成28年12月27日に公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」にて、平成29年3月期の期末配当予想を修正しております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	△32.5	1,350	14.2	1,290	10.4	900	11.4	50.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期3Q	22,806,900株	28年3月期	22,806,900株
29年3月期3Q	4,823,710株	28年3月期	4,838,710株
29年3月期3Q	17,969,281株	28年3月期3Q	17,837,808株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要マーケットである液晶パネル用設備投資は、G8.5、G10用を中心に活発に推移しており、今後も継続すると思われます。また、有機ELパネル用の設備投資も活発になってまいりました。

このような経営環境のなか、当社グループにおいては、配向膜用フレキシ印刷装置及び露光装置用光源装置、また、有機ELパネル用を含む種々の用途に対してインクジェット精密印刷機等の売上が引き続き好調に推移しています。また、複数顧客よりインクジェット精密印刷機を大量受注したため受注残は大幅に増加、82億39百万円となりました。今後増加が見込まれる中国向け中古装置の輸出に備えて買収した株式会社リードテックも上記受注機器の製造に寄与してきます。

人材サービス分野では、国内での雇用改善から人材派遣、設計請負需要が拡大し、売上は順調でした。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期と比べ21億44百万円(19.6%)増収の131億10百万円となり、営業利益は3億30百万円(32.4%)増の13億50百万円、経常利益は3億26百万円(31.9%)増の13億46百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億76百万円(39.5%)増の9億74百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。各金額については、セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

なお、第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で行っております。

#### ①ランプ事業

ランプ事業につきましては、露光光源用ランプは売上が順調に伸びておりますが、プロジェクター用ランプの伸び率の低下、LEDを含む一般照明用ランプの売上が第4四半期連結会計期間に集中していることから、ほぼ前期並みの推移となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比0.9%減の25億25百万円となりました。営業利益では、コストダウン、経費削減策が功奏し前年同期比61.8%増の82百万円となりました。

#### ②製造装置事業

製造装置事業につきましては、大型FPDパネル用の配向膜製造装置の売上及び台湾南部地震による設備復旧も含めた、既設装置のメンテナンス及び改造の売上が大幅に増加しました。露光装置用光源装置については大型FPDパネル用のカラーフィルター製造装置の需要に積極的に対応し、G10用装置を開発、納品を完了しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比35.3%増の78億84百万円となりました。営業利益では、前年同期比26.1%増の14億19百万円となりました。

また、受注は順調に獲得しており、当第3四半期連結会計期間末現在の受注残高は、82億39百万円となっております。

#### ③人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、技術者派遣、設計請負及び製造派遣を行っております。技術者派遣、設計請負については、地域密着型の事業のため、スタッフの質的向上、顧客ニーズにあった対応を行い、営業強化を図り業績は順調に推移しました。また、製造派遣については、企業の繁閑の影響を受けるため、補完できる業種への営業を推進し、派遣者数の増加に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比4.4%増の27億15百万円となりました。営業利益では、前年同期比59.1%増の1億42百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ10億68百万円減少し、108億29百万円となりました。その主な要因は、仕掛品が11億57百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ45百万円増加し、28億11百万円となりました。その主な要因は、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が1億2百万円増加した一方、土地が63百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億22百万円減少し、136億40百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ16億92百万円減少し、37億8百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が2億79百万円増加した一方、前受金が18億42百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億9百万円減少し、5億8百万円となりました。その主な要因は、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が33百万円増加した一方、長期借入金金が1億41百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ18億1百万円減少し、42億17百万円となりました。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ7億78百万円増加(9.0%増)し、94億23百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当を2億69百万円行った一方、親会社株主に帰属する四半期純利益が9億74百万円あったことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、上述の資産及び負債の減少を受け、前連結会計年度末に比べ10.1ポイント上昇し、69.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、投資有価証券の売却を第4四半期連結会計期間に行うことを決定し、特別利益の追加計上を予定しております。これに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたします。

なお、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,158,833	2,594,956
受取手形及び売掛金	4,884,399	5,388,781
商品及び製品	318,558	346,888
仕掛品	2,384,001	1,226,828
原材料及び貯蔵品	487,041	606,619
前渡金	419,213	286,805
その他	246,677	379,038
貸倒引当金	△433	△349
流動資産合計	11,898,292	10,829,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	786,162	738,292
土地	860,626	797,599
その他(純額)	535,045	518,137
有形固定資産合計	2,181,835	2,054,029
無形固定資産		
のれん	53,360	37,352
その他	55,695	75,953
無形固定資産合計	109,056	113,306
投資その他の資産		
その他	538,395	710,086
貸倒引当金	△63,834	△66,092
投資その他の資産合計	474,561	643,993
固定資産合計	2,765,452	2,811,330
資産合計	14,663,744	13,640,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,417,229	1,696,948
短期借入金	300,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	219,996	204,996
未払法人税等	289,284	127,853
賞与引当金	286,337	129,864
製品保証引当金	46,931	34,379
前受金	2,294,785	452,728
その他	546,235	661,808
流動負債合計	5,400,800	3,708,579
固定負債		
長期借入金	434,178	292,514
その他	183,719	216,131
固定負債合計	617,897	508,645
負債合計	6,018,697	4,217,224
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	5,047,180	5,751,725
自己株式	△1,211,662	△1,207,906
株主資本合計	8,532,562	9,240,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,374	177,406
その他の包括利益累計額合計	106,374	177,406
新株予約権	6,110	5,405
純資産合計	8,645,047	9,423,675
負債純資産合計	14,663,744	13,640,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	10,966,312	13,110,580
売上原価	7,652,877	9,534,346
売上総利益	3,313,435	3,576,234
販売費及び一般管理費	2,293,999	2,226,180
営業利益	1,019,436	1,350,054
営業外収益		
受取利息	111	241
受取配当金	10,975	14,083
業務受託手数料	11,800	3,600
雑収入	10,251	9,832
営業外収益合計	33,138	27,757
営業外費用		
支払利息	10,388	9,698
為替差損	2,602	—
シンジケートローン手数料	18,171	17,000
雑損失	804	4,439
営業外費用合計	31,967	31,137
経常利益	1,020,606	1,346,674
特別利益		
固定資産売却益	1,903	126
特別利益合計	1,903	126
特別損失		
固定資産除却損	6,031	210
固定資産売却損	—	9,352
事務所移転費用	6,578	—
特別損失合計	12,610	9,562
税金等調整前四半期純利益	1,009,899	1,337,238
法人税、住民税及び事業税	304,864	312,907
法人税等調整額	6,460	49,567
法人税等合計	311,325	362,474
四半期純利益	698,574	974,763
親会社株主に帰属する四半期純利益	698,574	974,763

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	698,574	974,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,325	71,032
その他の包括利益合計	51,325	71,032
四半期包括利益	749,900	1,045,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	749,900	1,045,796
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,546,573	5,827,030	2,592,708	10,966,312	—	10,966,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,117	1,230	7,467	9,815	△9,815	—
計	2,547,691	5,828,261	2,600,175	10,976,128	△9,815	10,966,312
セグメント利益	50,796	1,125,651	89,321	1,265,769	△246,333	1,019,436

(注) 1 セグメント利益の調整額△246,333千円には、セグメント間取引消去16,862千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△263,195千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,525,213	7,879,443	2,705,923	13,110,580	—	13,110,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	518	4,991	9,505	15,014	△15,014	—
計	2,525,731	7,884,434	2,715,429	13,125,595	△15,014	13,110,580
セグメント利益	82,178	1,419,038	142,113	1,643,330	△293,276	1,350,054

(注) 1 セグメント利益の調整額△293,276千円には、セグメント間取引消去3千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△293,279千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の事業管理区分の変更に伴い、従来「検査装置事業」に含まれていた事業のすべてを「製造装置事業」に移管しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。